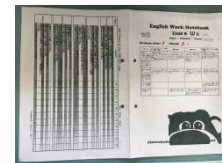


## 現状の課題と課題解決のための手立て

- ・CAN-DO リストの改善及び活用の工夫と、4技能の育成を図る指導の工夫 ・基礎・基本の確実な定着のための工夫
- ・自己表現ができる力と他者とコミュニケーションを図ることができる力の育成を目指した授業改善

## 具体の取組の内容

- CAN-DOリストの活用: 生徒への意識化と生徒との共有化を図る工夫
  - ① 単元ワークシート集と合わせての配付・活用 ② 本時のめあてとして板書 ③ CAN-DO リストを基にしたワークシートの作成・活用
- 4技能の総合的な育成を図る言語活動の工夫
  - ① 目的・場面・状況を意識した課題解決の言語活動
  - ② 即興的・継続的な「やりとり」を目指した言語活動 Listening & Speaking ③ 英作文活動・長文読解活動 Writing/Reading
- 自己表現力とコミュニケーション力の育成を目指した学習活動の工夫
  - ① 自己表現や対話中心の帯活動の工夫 (Interview Game / Let's Chat! / Q&A ・A&Q)
  - ② 思考力・表現力の育成を目指した言語活動 (自己紹介 / 人物紹介 / 友達理解～好みについて～)
- ICTの活用→電子黒板やデジタル教科書の活用 ○ 学び合い学習活動や対話活動の継続的実践
- 活用力につながる単語・語彙力向上を図る実践 ○ 小・中・高連携の強化 ①相互授業参観 ②情報交換



## 成果①

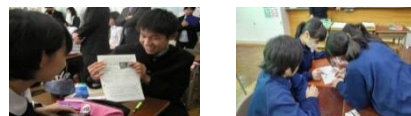
### 【連携】

- 有効な助言: 外部専門機関の先生方からの助言を日々の指導改善に生かすことができた。
- 小中高連携による相互理解  
校種ごとの英語指導の実践への理解が深まり、連携の重要性を実感すると共に今後の課題を確認し合うことができた。
- 指導方法改善へ: 小学校のコミュニケーション活動の指導や、高校の長文読解指導を参考に、指導改善を行うことができた。

## 成果②

### 【校内】

- 積極的な授業実践: 「具体の取組内容」に挙げた視点での言語活動等の工夫や、指導方法の改善や授業改善を継続して実践することができた。



- 生徒の意識向上: 英検受験者数が1学期と比較し2学期は2倍に増加した。また、校内意識調査の英語授業に対する『「わかった」』『できた』と感ずる』や『めあての達成』等の項目の数値が3学年は特に高まった。

## 今後の課題・方向性

### 【連携】

- CAN-DOリストの改善: 小中高の整合性
- 小中高連携の強化: 授業参観・情報交換
- より効果的な言語活動を目指すための小・中の言語活動の系統一覽作成

### 【校内】

- CAN-DOリストの改善: 新学習指導要領対応リスト作成・より効果的な活用方法の工夫
- 言語活動の充実: 4技能や表現力、コミュニケーション力の育成・「やりとり」・タスク活動
- ICT推進 ○評価の工夫: パフォーマンス評価